

新医学系指针对应「情報公開文書」改訂フォーム

## 研究協力のお願ひ

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

造血幹細胞移植における治療予後の研究
<p><b>1. 研究の対象および研究対象期間</b></p> <p>2003-2017年に昭和大学病院で造血幹細胞移植を受けられた方</p>
<p><b>2. 研究目的・方法</b></p> <p>造血幹細胞移植は様々な血液造血器腫瘍で用いられる有用な治療法ですが、移植前の疾患の状態、幹細胞源や前処置、生着の状況で治療効果が異なります。</p> <p>そこで昭和大学病院で造血幹細胞移植を受けられた方の臨床および検査所見、治療予後を後方視的に解析します。臨床情報・検査所見、特に生着時の検査所見と治療予後に着目し、簡便で臨床的に有用性の高い、新規の予後因子を抽出することを目的とします。</p> <p><b>研究期間</b></p> <p>「医学部 人を対象とする研究等に関する倫理委員会」承認後、昭和大学医学部長の研究実施許可を得てから2018年12月まで</p>
<p><b>3. 研究に用いる試料・情報の種類</b></p> <p>2003年から2017年に当院血液内科において造血幹細胞移植をうけた方を対象とします。調査項目は、移植細胞源（血縁、骨髄バンク、臍帯血バンク）、前処置（投与薬物、用法・用量、投与期間）、疾患名、末梢血液・骨髄穿刺あるいは生検組織所見、薬物療法（投与薬物、用法・用量、投与期間）、患者背景（年齢、性別、身長、体重、既往歴、現病歴、支持療法）、臨床検査所見、骨髄（あるいは末梢血）染色体、フローサイトメトリー検査、キメリズム解析です。</p>
<p><b>4. お問い合わせ先</b></p> <p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及</p>

び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属	職名	氏名	
医学部内科学講座血液内科学部門	講師	服部 憲路	(研究責任者)
電話番号			
03-3784-8338			